

PRESS RELEASE



名古屋証券取引所

NAGOYA
STOCK EXCHANGE

名古屋市中区栄 3-8-20 〒460-0008
Tel 052-262-3171 www.nse.or.jp

2022年3月30日

各 位

3月社長記者会見

1. 2022年度業務計画について <資料 参照>

以 上

2022年3月30日

株式会社名古屋証券取引所

2022年度 業務計画

1. 名証の魅力向上

(1) 新規上場の促進等

- ① 中部地区のみならず、全国の未公開企業に直接アプローチし、名証単独上場の理解・意向を固めてもらう。
また、中部地域の既上場企業に対しても名証への重複上場を促すため、個別訪問を実施する。
- ② 市場区分変更後の東証との差別化部分を周知し、名証市場の魅力伝えるとともに、新たな上場候補企業を発掘するため、名証主催のIPOセミナーを開催(年3回予定)するほか、IPO関係者が開催する外部セミナーへの積極的な講師派遣及びIPO関係者への個別訪問やWebガイダンスを実施する。

(2) 名証市場の認知度向上・利用促進

- ① 事前公表型の自己株式取得に関し、上場企業及び幹事証券会社に対し名証の利点をアピールしながら、名証市場の利用促進活動を実施する。
- ② ETF市場の認知度向上及び流動性向上を目的に、プロモーション活動を実施する。
- ③ 新規上場銘柄の認知度向上・名証市場の魅力向上(上場の誘致)を目的に、新規上場会社に対し、個人投資家向け企業説明会を無料で開催する。
なお、単独上場会社については地元の証券営業担当者向け企業説明会の選択も可とする。
- ④ 名証市場の状況、市場動向に関する調査・分析、名証の取組み等に関する情報を掲載した「名証通信 -Communication Letter-」を発行し、上場企業、取引参加者、マスコミ、一般投資家等に対して有用な情報を提供する。
- ⑤ 広告その他宣伝媒体の有効な活用を検討・実施し、一般向けに名証の存在をPRする。
加えて、新市場移行日を中心として、市場区分変更の認知度を高めるための新聞広告やサイネージ等を活用した一般向け広報を展開する。【新規】

(3) 上場企業及び取引参加者に対するサービス・サポートの強化

- ① 個人投資家・個人株主重視の取引所を目指す施策の一つとして、「名証 I R エキスポ」(9月9日・10日予定)や I R セミナー等(随時)を開催し、上場企業に対し個人投資家に向けた I R 活動の場を提供する。

なお、I R セミナーについては、企業のニーズによりオンライン形式でも開催する。イベントに係る個人投資家の集客については引き続き Twitter を中心に SNS を積極的に活用する。

また、「名証 I R 懇談会」の事務局として、上場企業の I R 活動を側面から支援する。

- ② 上場企業向けサービスの一環として、新卒採用サポートを実施する。

また、就職支援会社の Web 上で、名証上場会社の採用支援活動のサポートを行う。

- ③ 上場企業の実務担当者向けに、時節に即した適時開示上の注意点等に関する説明会を開催するほか、インサイダー取引規制等のコンプライアンス体制の向上支援のためのセミナーを開催するなど、有用な情報提供を継続する。

また、「名古屋株式事務研究会」の事務局として、上場企業の株式関係事務の合理的運営と能率向上を側面から支援する。

- ④ 上場企業間の親睦及び上場企業との意見交換の場として「名証上場企業交流会」を開催(例年2月に開催しているが時期にこだわらず開催)する。

また、中部以外の地域に本社のある重複上場企業とのコミュニケーションを円滑にするための個別訪問を実施する。

- ⑤ 取引参加者の顧客向けサービスへのサポート及び名証単独上場銘柄の知名度向上を目的として、取引参加者と共催セミナーを開催(9月~3月予定)する。

- ⑥ 取引参加者等と連携しながら株式投資の魅力を訴求することを目的に一般投資家を対象とした「上場企業工場(施設)見学ツアー」等を開催する。

- ⑦ 取引参加者とのコミュニケーションを促進するための個別訪問を実施する。

- ⑧ 取引参加者の従業員向けサポートを目的として、著名講師による営業担当者向けの研修セミナーを開催する。

加えて、当地区若手証券営業担当者が参加する懇談の場を設け相互の交流及び情報交換に資する。【新規】

また、取引参加者各社の I T 技術の活用や I T リテラシー向上の寄与するため、Fintech 勉強会及び I T 実務研究会を開催する。

- ⑨ 取引参加者向けサービスの一環として、新卒採用サポートを実施する。

また、就職支援会社の Web 上で、取引参加者の採用支援活動のサポートを行う。

(4) 個人投資家向けサービスの充実

- ① 個人投資家層の拡大及び個人投資家の当社主催イベントへの参加を促す目的で会員制のコミュニティ創設の検討を行う。【新規】

2. 名証市場の信頼性・公正性の向上

(1) 適切な自主規制機能の発揮

- ① 上場監理業務を適切に遂行するため、証券取引等監視委員会、東海財務局等との情報交換を定期的に行うなど、監督当局との連携を図る。
また、上場審査及び上場管理に係る各種情報交換や事例研究を目的とした「全国証券取引所連絡会議」に参加し、上場審査及び上場管理の機能向上及び担当者のスキルアップを図る。
- ② 上場制度の整備等を必要に応じて実施するほか、上場監理業務の適切な遂行のために必要な取組みを実施する。
- ③ 市場監理を適切に遂行するため、監督当局や他の金融商品取引所との連携を図り、売買審査上有益な情報交換を実施する。
また、売買審査担当者のスキルアップを図るため、証券取引等監視委員会の研修等に参加する。
- ④ 取引参加者監理業務を適切に遂行するため、考査（他の自主規制機関との合同検査）を実施する。
また、考査担当者のスキルアップを図るため、証券取引等監視委員会の研修に参加する。
- ⑤ 当地域の取引参加者のコンプライアンス業務の質的向上を図るため、「コンプライアンス実務担当者向けセミナー」を開催する。

(2) 市場インフラの信頼性・安定性の向上

- ① システムリスク分析・障害分析・障害対応訓練等を継続的に実施することにより、システムリスク管理の実効性向上に努める。
- ② サイバー攻撃・セキュリティ事故等の情勢を踏まえ、セキュリティリスク対策を検証するとともに、必要な対策を強化するなど実効性向上を図る。
- ③ 災害時等における市場業務継続のための訓練等を実施する。
- ④ 市場機能向上のための制度整備等を必要に応じて実施するほか、東証の立会時間延伸との関係で当取引所の立会時間について検討する。
- ⑤ 自社システムのリプレースに向けた開発作業を実施する。(2023 年度 5 月稼働予定)
【新規】

3. 投資知識普及活動の実施

- ① 「証券知識普及プロジェクト」(事務局：日証協)に参画し、関連イベント等の広報活動に協力する。
- ② 小学生及び中学生を対象に、暮らしと経済や株式会社との関係について講義やボードゲームを通じて学習してもらい親子経済教室を開催(夏休み期間中の開催を予定)する。
- ③ 名証市場及び上場銘柄の認知度向上並びに若年層の金融リテラシー向上及び金融経済教育の充実の一助となることを目的に、学生を参加対象とした「名証株式投資コンテスト」を開催(10月～12月予定)する。
- ④ 当取引所への見学に対応し、団体申込みのあった見学者に対する要望に沿った説明等を実施する。
また、歴史資料の展示設備を増設(5月オープン予定)するなど見学内容の充実に努める。
- ⑤ 教員の金融経済教育に関する研究への支援等を行う。
- ⑥ 行政機関等と連携し大学等の授業に講師を派遣し、証券取引所の役割や証券投資等についての講義を行う。
また、大学と直接提携し証券市場や証券投資等の講義を行う講座(連携講座)の開設を検討する。【新規】

4. その他

- ① 現下の新型コロナウイルス感染拡大に対して、引き続き的確な対策を講じる。
また、必要に応じて上場企業に対し、オンライン記者会見のインフラを提供する。
- ② 相場情報提供契約者数の増加を図るため、名証相場情報の利用者に対し、契約締結・情報料支払い交渉を随時実施する。
- ③ 内部監査により法令諸規則の遵守状況等を検証する。
- ④ 全従業員を対象に情報管理及びコンプライアンス意識向上に関する社内教育を実施する。

以上